

## 談話における"所以"の用法と機能

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2008-03-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 今井, 敬子 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00001111">https://doi.org/10.14945/00001111</a>

# 談話における“所以”の用法と機能

今 井 敬 子

## 0. はじめに

現代中国語の連詞については、従来、複文内あるいは隣接する文と文の範囲内で論じられることが多かったが、より広い談話の範囲に視野を置いて観察すると、また違った現象・特徴の見られることを、連詞“因為”と“所以”の呼応による因果表現を例に、拙稿（1998）で明らかにした。今回はその結果をふまえて、単独で使用される場合の“所以”が、因果標識を越えた機能もあわせもつ点に着目し、そのような“所以”の用法と機能について分析を試みる。

小論ではまず、談話の中で単用される“所以”の作用範囲の広さ、因果関係の重層性など、複文レベルなどでの調査では見出しにくい諸特徴を挙げる。次に、前件・後件の間の意味関係の差から発する“所以”の諸機能についてとりあげ、それらの間の関連性、連続性について考察を加える。

用例は、《当代北京口語語料》（北京語言学院語言教学研究所、1993年）から収集した。本資料は102名の北京在住者の個々人を対象に、用意した複数のテーマ（経歴、家族、職業、生活、趣味など）について、インタビューを行い、その口述内容の録音をそのままのかたちで文字に起こしたものである。インタビューといっても質問者の発話は記録されていないため、解答者の独話形式の体裁になっている（ただし部分的には、解答者が質問者に問いかけたり、同意を求めたりしている個所が見られる）。したがって、小論では、独話を対象にした考察が中心となる。

## 1. “所以”の単用による標準的因果表現形式

“所以”が単用されるときは、a)のように複文の中の後続する節の冒頭に

おかれて、先行する節を前提とする場合と、b)のように文頭に置かれて、先行する文を前提とする場合とがある。<sup>1)</sup>

a) ——p——，所以——q——。

b) ——p——。所以——q——。

いずれの場合も、前件(p)で表された内容を原因、理由、きっかけなどとして、その結果を後件(q)で述べることから、前件と後件との意味関係は因果関係と称せられている。

“所以”の単用が規範的・標準的に用いられているのは、1)や2)のように、前件と後件が隣接し、かつ、両者の間に一对一の明白な因果関係が認められる場合である。

1) 这些年从经济上也，也缓不上来什么，所以家里谈不上什么摆设儿，这个这个电气化，根本谈不上，就这样了。128頁<ここ数年、経済面でも改善がなにもありません、だから家では家具だとか、電化だとか、まったく話題に登らなくなりました、こんな次第です。>

2) 再有一个呢，那个自己呢，注意加强身体锻炼。所以呢，身体逐渐好起来了，胃病也基本上没有了。191頁<もうひとつ、自分で体を丈夫にするように鍛えています。それで、だんだん健康になり、胃病もほぼなくなりました。>

実際の談話では、上の例に見られるような規範的な要件を外したものが、広範囲に見られる。すなわち、前件と後件は必ずしも隣接していなかったり、因果関係については、それが必ずしも一对一ではなく重なり合っていたり、また、因果関係が必ずしも明白でなかったり、さらには因果関係の見られないような場合である。以下に、そうした具体例を順に追っていく。

## 2. 談話中での“所以”の特徴

### 2. 1. 作用範囲

特定のテーマについてまとまった内容のある話をその場で遂行する場合は、必ずしも直線的に話題が展開されるわけではなく、本筋の話の進行の途中に、関連する別の話が挿入されているような例が多く見られる。その場合、前件から後件に到る途中で、話が脇道にそれ、その後、再びもとのお話に戻るときに、“所以”がしばしば用いられる。

3) 在广州可不行。广州一般人，什么都买不起，那儿太贵。…其实北

京最贵,那边儿也够贵的。社会治安那边儿也乱,太乱。所以今年他们说上广州我就没去。301頁<広州ではだめです。広州では普通の人は、何も買えない。あそこは物価が高すぎます。…実際には北京が一番高い、あそこへ行くとひどく高いですよ。治安も乱れていて、ひどく乱れています。だから、今年あの人たちが広州へ行くと言ったけれど私は行きませんでした。>

3) では、広州の話を進めるうちに物価の高さに話が及ぶと、物価に関して類似の現象が見られる北京に話題の中心が移り、その後、再び広州に話が戻っている。後件の冒頭に置かれた“所以”は、北京の挿話を飛び越えて前件と結んでいる。ここでの“所以”は確かに因果関係の結果の部分の部分を導いているが、それと同時に、脇道にそれた話の軌道を修正して、本筋へと引き戻すための標識としてもはたらいていると理解できるであろう。

4) は、前件と後件の間に、さらに大きな間隔が見られる例である。

4) 日坛啊,啊,从那边儿来的时候儿啊,嗨,坐哪个都不顺,后来就有四十四,这不新通吗?啊,这四十四,可是从我那边儿啊,也得走个七分钟吧,差不多。我在哪儿?在禄米苍的,你知道胜化红星胡同儿吧,哎,红星胡同儿这不是个小街儿路口儿了吗?我在马路东边儿那胡同儿。一直撞到头儿呢,整个儿偏东边儿了,快到雅宝路在雅宝路跟那个马路中间儿了。上不着天儿,下不着地儿。嗯,车站不方便,对,骑车最方便了,骑车最方便了。所以我上中班的时候儿呢就坐四十四。44頁<日壇は、あそこから来る時は、どれに乗っても都合が悪く、後になって44号線ができました、これは新しく開通したんでしょ?この44号線は、私のところからは歩かなければなりませんけど7分でしょ、だいたい。どこに住んでるか?禄米倉よ、勝化紅星横丁を知ってるでしょ、紅星横丁は通りの入り口じゃないの?私は大通りの東側の横丁よ。まっすぐ行って付き当たったら、ひたすら東へ進むと、すぐに雅宝路に着いて、雅宝路上のあの大通りととの中間です。中途半端な位置よ。バス停までは不便で、そう、自転車が一番便利、自転車が一番便利です。それで私は早番、昼番で勤務の時は44号線に乗るの。>

4) では、質問者に居所をたずねられたらしく、それに答える個所から話が脇道へそれていく。やがて、もとの話題に戻るまでの、前件と後件の間隔は相当あるが、これほどの隔たりの後でもなお、“所以”によって、直前の文の内容（自転車が一番便利）との結びつきが優先されるのではなく、はるかに先行する前件での話題（44号線バス）に回帰することができるのである。ここでの“所

以”は、前件と後件を因果関係で結ぶはたらきをも保持している。

## 2. 2. 因果関係の重層性

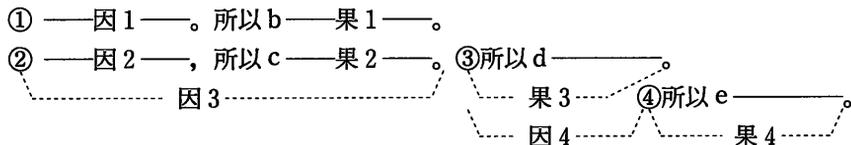
実際の談話では、複数の因果関係が並列しているものや、先行する因果関係の後件（結果）部分が、前件（原因・理由・きっかけ等）となって、後続する節や文との間に新たな因果関係を作っているような、重層性が広く見られる。

5) 人家越放假，我们越加班，啊所以 a，人们也不去想到去旅游去。

由今年这个八五年，哦八四年开始，旅游开始旺盛了。所以 b 我们单位呢，也做了很多的为旅游做的工作。另外就是先进生产者啊，啊，在我们厂工会组织到去这个北戴河，去旅游，啊，所以 c 引起很大兴趣。所以 d 现在咱们这个青年人对旅游事业啊，感到非常好，啊。

所以 e 现在很多职工啊，都自动地组织起来旅游，这是跟过去不同的。199頁<人々が休暇をとれば、それだけ私ら（交通機関の職員一筆者）は残業が増えます。だから同僚は旅行に行こうなんてしませんでした。今年の85年から、84年から、旅行が盛んになりました。そこで私らの職場では、旅行のための仕事を多く手がけるようになりました。ほかに先進的な職員は、職場の組合で組織して北戴河へ行っただけです、旅行で。それでおいに興味を引きおこしました。だから今では私ら若い者は旅行事業に対してとても好意的です。それで今では職員の多くが、自主的に旅行を組織しています、この点は以前とは違っています。>

5) の5個所の“所以”の中で、“所以 a”だけが、前件と後件が一对一で因果関係を形成している。ほかの4個所の“所以”の間には、下の図のように因果関係の重なりが見られる。



①と②は、それぞれの内部で前件と後件が因果関係を成している（因1果1及び因2果2）とともに、①と②のそれぞれの全文がともに前件となって、③を後件とする因果関係を形成している（因3果3）。そして、その③は今度は前件となって、④を後件とする因果関係をつくっている（因4果4）。このように、先行する節や文の内容を引き継いで、因果関係を次々と形成していく方式が頻繁に見られるのは、5) のように、時間の経過に沿って事態の変化や行為の連

続を追いながら話を展開している場合である。

次の6)でも因果関係の重なりが見られるが、連続使用されている“所以”の最後のものは、必ずしも因果を表しているとは理解しにくいものである。

6) 有时期我也顾不上,反正早晨,五点多吧,就从,从家就出来了,到这儿上班,一直白天也回不来,我在北,城里住,嗯,来回跑通勤。嗯,直到晚上吧,将近七点我才能到家。所以a一天不在家,所以b对孩子的教育就差一些,所以c这个这方面儿就差多了。141頁<私も時には(子どもを)かまっていられません。早朝、5時過ぎには、家を出て、ここまで出勤します。ずっと日中の間、帰宅もできません、私は北、町中に住んでいますので、往復とも通勤しています。夜になって、7時近くにやっと家に帰ります。だからまる一日家にいなくて、それで子どもの教育は不十分です、だからこの方面(子どもの教育面一筆者)はだいたい行き届かないんです。全体的に家庭のことを言うなら、だいたいこのようになります。>

6)の3個所の“所以”の中の“所以a”から“所以b”へかけては、因果関係の重なりが見られる。すなわち、「早朝出勤と遅い帰宅」が原因となって家には「まる一日不在」の状況が出現し、さらに、「まる一日不在」であることが原因となって「子どもの教育が不十分」である、というふうに、尻取り式に因果の連鎖ができています。最後の“所以c”は「子どもの教育は不十分」と「この方面(子どもの教育面)は行き届かない」のふたつを結びつけているが、この両者は、同一内容をやや表現を変えて述べているだけである。しかし、この繰り返しは単なる繰り返しではなく、因果による展開方式によって引き出した結論を、再度述べることで、この話全体をまとめ、終結させるはたらきをしていると理解できる。

このように、話のまとめ・終結の個所に“所以”が用いられている例は、話し手の判断、見解、主張、推論などの主観的な要素が後件にくる場合にもよく見られる。この用法については3節で後述する。

### 2. 3. 言語外の因果関係

“所以”は、必ずしも常に、言語内で明示された因果関係について用いられているわけではなく、言語外の事実に基づいている場合もある。

7) 哦,我们全家四口儿人都工作。哦,我的,两个孩子,大闺女,在,单位十打字员。哦,二孩子是男孩子,在出租汽车公司,开汽车。所以他们

的工资都比较高。我们生活都是补交富裕。52頁<我が家は四人家族全員が働いています。子どもふたりは、長女は職場ではタイピストをしています。二番めは息子で、タクシー会社で運転手をしています。それでふたりの給料は多いほうです。私たちの生活はわりあい豊かです。>

7) の文中の“所以”の前後が、因果関係で結ばれていると理解するためには、問題になっているふたつの職業が一般に高収入であるという言葉外の知識が必要である。

8) 建了这个馆以后呢,这个总政啊,有一些个人哪,就选发一些个呀,当讲解员的。条件啊, 较比高一点儿, 一个是口齿得好, 一个是面貌得好, 体质得强。所以我这大女儿呢, 就在这个, 就被选中啦。 68頁<この(軍事博物)館が建ってから、軍の総政治部は、何人か、何人か選びました、解説員にするために。条件は、わりに高くて、ひとつには話し方が上手であること、ひとつには容貌が優れていること、体が丈夫であることです。それで、私の上の娘が、その中に、選ばれました。>

8) では、解説員に要求されるすべての諸条件を娘が備えていることが、前文脈で明示されているわけではないため、聞き手にはその知識がないと推定できるが、それでも“所以”が用いられている。

### 3. 派生的機能

前件と後件の間に必ずしも明白な因果関係が見られないが、話の終結部に“所以”が置かれて、話のまとめを引き出すようなはたらきをする用法がある。一方、判断、主張、推論、意見などとそれらの根拠を述べる時に、終結部に“所以”が置かれる形式が見られる。また、因果関係の見られない極端な例として、発話を単につないでいる機能のみと思われる例がある、本節では、こうした諸用法をとりあげていく。

#### 3. 1. 話題の終結

9) 工资这么一分呢,就剩下的就是太少了。所以 a 就是嗯,像教师长工资吧,从一月份给我们长哈,长到现在,还没信儿呢。……(中略)……原来说放假前给我们补上。现在也没也没信儿了。嗯,所以 b 豪夺问题也解决补了。不过我们普遍的这个老师来说,283頁<給料はこうして分けると、残りはほんのわずかです。それでつまり、教師の給料を増やす

というような、一月から今までの分を増やすんですが、まだ、何の通知もありません。…（中略）・・もともと休暇の前に補填するって言ってたんですが。今でも連絡がありません。で、多くの問題が解決しきれずにいます。でも、私たち一般の教師からすれば、…>

文中の“所以 a”は通常の因果関係をあらわしているが、“所以 b”の場合、直後の「多くの問題」は、仕事上の待遇に関する様々な問題を指していて、これが主たる話題となっている。7) で述べられている給与増に関する問題は、その多くの問題の中のひとつである。“所以 b”に導かれる後件に対応する前件はどこにも見出せず、因果関係は形成されていない。“所以 b”は、主たる話題を終結させるための前触れの役割を担っていると言えないだろうか。

10) 那确实是,工人生产出东西,那就是说还要回到这个群众手里,是哇。可是你这质量不好,那你就直接影响到生活的需要。所以反正我们一天到晚什么事儿都,都遇得上。99頁<たしかに、労働者が製品を作るが、それは大衆の手に戻されなければいけないんです、そうでしょう。しかし、質が悪ければ、生活での必要に直接影響します。で、いずれにしろ朝から晩までどんなことにも出くわします。>

上例は、販売員として生産、販売、消費の関連を話題に、販売現場での問題を述べたあとの、最後の部分である。10) の“所以”もまた、因果関係で対応する前件と後件を見出せなく、話をまとめて終結させる働きをしていると理解できる。このように、いわばまとめを導く“所以”に後続する表現には一定の傾向がある。7) の「多くの問題がある」、8) の「どんなことにも出くわす」のように、非具体的な内容をもってまとめとしている場合がよく見られる。その極端な例が11) である。

11) 现在要求是比较,比较严格。你必须得认真备课。因为它现在呢,嗯,每天晚上时候儿吧,有时候儿要准备课。嗯,如果,嗯中午呢,有时候儿吃完饭以后吧,在学校吃完饭以后,还要处理作业。所以,在,在学校工作是那样。在家里头呢,··· 27頁<今は要求がわりあい、わりに厳しいです。まじめに授業の準備をしなければなりません。なぜなら今は、毎晩、準備が必要な時もあります。もし、昼なら、時には食事のあとで、学校で食事が終わってから、なおも宿題を見なければなりません。で、学校の仕事はこんなふうです。家では・・>

ここでの“所以”も、前件と後件の対応が見られなく、ひとつの話題の終結部分に位置していると見ることができる。しかし、その直後に来る「学校の仕

事はこんなふうです」は、実質的な内容をもたず、情動的には何も付け加えていない。

話題の終結部に“所以”が現れるもうひとつの場合は、判断・主張・意見・推論などをまず述べて、次にその具体的な説明、事例などを続け、最後に再び主張などが、最初の時とほぼ同じような語句によって示される、というパターンである。

### 3. 2. 主張・判断・推論などの反復

論証の展開形態としては、一般的主張を述べてから個別の例証を挙げる演繹型と、個別の事例を挙げてそれを証拠に一般的主張を導く帰納型とが対照的であるが、その両者を重ね合わせたような、主張→事例→主張の形態がここでとりあげるものである。2度めの主張の直前に“所以”が置かれる。主張と事例だけでなく、判断・意見・解釈・推論などと根拠・補足説明などの場合も同類とみなすことができる。

12) 嗯,就,就当当时就想,就是说到国外去玩儿玩儿,看看。到国外到底是什么样儿,和咱们国家有什么区别,是哇,嗯。就有那么一个心情出去的。嗯,当坐上飞机以后心情就不一样了,就那个滋味儿不一样,就觉得哎哟这,一过这海关,好家伙,就,再想回来可不容易了。嗯,不同意就不回不来,所以这个心情就不一样了。 141頁<当時は、外国へ行ったら遊んだり見たりしようと思っていました。外国へ行ったら結局どんななのか、我が国とどう違うのかという気持ちで出かけたんです。飛行機に乗ると、気持ちが変わりました、心持ちの変化です、つまり、なんと税関をいったん通れば、びっくり、もう帰ろうとしても簡単にはできない。同意なしには、帰れないわけです、それでその気持ちが変わったんです。>

12) では、“心情不一了”という事態への判断があり、続いて具体内容、さらにその後、再び事態への判断が、最初とほぼ同じ語句によって述べられている。中間の具体内容は、気持ちの変化をもたらしたきっかけについて述べているようにも理解でき、また、気持ちの変化の内容そのものを述べているとも理解できる。

13) 这个啊, 要说从我小时候儿这个情况来说,这个就业问题是一个严重问题,因为那个时候儿没有分配制度。这个样子呢,就是说你认

识的朋友多,认识的人比较广,就能朋友托朋友这个样子,来找工作。哎,如果说你不认识人,那就是,那就即便是卖苦力气,也挺难找的。所以 a 比方说吧,你要是打算在清华大学,那时候随便做个工作,你必须得有清华大学的这个,朋友,啊,哦在这边儿工作,这样儿他呢,通过他呢,给你介绍,你才能进去。……(中略)……所以 b 在这个旧社会,找一工作是很困难的。83頁<その、私が子どもの頃の状況から言うと、就職問題は深刻な問題でした。あの頃は分配制度がありませんでしたから。それで、知り合いが多く、顔が広ければ、友達に頼んで仕事をみつけてもらえます。知り合いがないなら、力仕事をさがすのさえむずかしいのです。だからたとえば清華大学で、あの頃自由に仕事をしたいなら、清華大学に友達がいなければだめです、そこで仕事をするには、そうやって、彼が、彼を通して、紹介してもらって、やっと中に入れるんです。…(中略)…それで、旧時代の社会では、仕事ひとつさがすのもとても難しかったです。>

ここでは、まず事実に基づく意見があり、その理由と具体例が“因为”と“所以 a”の呼応のもとに簡潔に述べられ、さらに、引用の中略部分で、事例が詳細に述べられて、“所以 b”以下で最初の意見を繰り返すかたちになっている。

14) 这些年好像气候都变了似的,我怎么觉得呀,……(中略)一直你看从冬天虽然不太冷,可是呢一直持续到什么“五一”什么的。过去,像二十年,五几年那时候儿吧,“五一”的时候儿就挺暖和了。像今年这“五一”的时候儿呢还不太暖和呢,就那样儿。所以好像这些年那个气候有变化。267頁<ここ何年か気候がすっかり変わったようです。なぜそう思うかっていうと、…(中略)…冬からずっとさほど寒くなかったけど、ずっとメーデーまで続いています。以前は、二十年、五十何年かの頃なんか、メーデーの時期にはずいぶん暖かになっていました。今年のメーデーの時なんかあまり暖かなくて、あんなふうでした。だからここ何年か気候が変化したようです。>

主張の部分では“好像”が使われているため、可能性のある事態についての推測的判断になっている。まず、推論を提示し、続いてその根拠となる現象を挙げ、最後に再び推論を、最初と同一の語句で示している。

このパターンでは、2度めの判断・主張・推論などは、多少の語句の言い換えはあっても、最初の内容をそのまま保持している。そして判断・主張・推論などが2度目に提示された直後に話題が終結している。したがって、判断・主

張推論などの繰り返しは、それまでの話の終結を導くための結論を提示しているとも理解できる。<sup>2)</sup>この繰り返しはほぼ定型化しており、“所以”の後に判断・主張・推論などが一度示されるだけで反復はない、という例はわずかに見られるだけである。その一例を挙げる。

15) 在这个基础上来进行呢业务的学习,我,我感觉这样儿是合适的。

所以过去的我们的安排,往往是比较错误的,哎,比较错误的,疏忽了政治,啊,这一点儿呢也及时受到了领导的批评。 85頁<この基礎(正しい政治思想をもつという基礎一筆者)をふまえて仕事の上での学習を進める、私はこうするのが正しいと感じます。それで以前の私たちのやりかたは、しばしば間違っていたんです。かなり間違っていました。政治を疎かにしたので、この点はすぐさま指導者の批判も受けました。>

15) では前件の内容「～するのが正しい」が根拠となって、後件の判断「～は間違っていた」が生じているが、前件の内容は同時に「正しい」という話し手の判断を表してもいるので、一方の判断がもう一方の判断の根拠となっている、という関係が見られる。

### 3. 3. 発話をつなぐ

前件と後件の間に因果関係が全く見られない場合にも、“所以”が用いられているものがある。それには、前後をつないでいるだけのものと、因果以外の別の意味が見られるものとの2種がある。

16) 我是河北医学院的啊,河北医学院最早是在天津,天津。后来天津,啊,在天津迁校以后呢,迁到保定,嗯,后来有从保定又迁到石家庄,所以 I 毕业的时候儿呢,是从石家庄,石家庄毕业的。 22頁<私は河北医学院です、河北医学院は最初は天津にあって、天津、あ、のちに天津で引っ越してからは、保定に移りました、その後さらに保定から石家庄に移りました。ん、それで、私が卒業したときは、石家庄で、石家庄で卒業しました。あ、お金の問題については…>

16) では、前件と後件の間に因果関係は見られないが、話の展開の帰結の部分に“所以”が用いられ、その直後には、別の話題(経済生活)に移行している。

17) の例は、複数の“所以”が連続して使用されているが、そのうちで因果関係の見出せるものは一件のみである。

17) 嗯,那时候儿都是没有人的,很害怕。就是那时候儿,我小的时候儿这里都没人呆呢。嗯,挺荒凉的哈。所以 a 这个,我觉得这建国几年,这个三十多,三十多年了哈,变化挺大的。所以 b 这个各方面儿呢,在哎工业,农业,文教事业,环境保护这方面儿,都起了很大的变化。而且现在我们邮票厂也像各花园儿一样。真是,现在是一像里边儿像一个花园儿一样。所以 c 变化比较大的。真是,真是,这个气象万新哪,变化挺大的。所以 d 这个方面条件儿也比较好。181 頁<あの頃は全く人がいなくて、恐かったです。あの頃、私が小さかった頃はこのあたりは住んでいる人がいなかった。荒涼としていました。それでその、建国何年かして、三十あまり、三十数年たって、ものすごく変化しました。それで各方面、工業、農業、教育文化、環境保護の方面で、大きな変化がありました。しかも今では我々の切手工場も花園のようです。ほんとうに、今では敷地の内部は花園のようです。それで、変化がわりに大きかった。ほんとに、ほんとに、様相がすっかり新しく変わって、変わりようが大きかったです。それで各方面の条件がわりあい整備されています。>

17) における“所以”の連鎖によって、以下の内容が関連づけられている。

———。所以 a———。所以 b———。所以 c———。所以 d———。  
(荒涼) (建国後の大変化) (各面で大変化) (変化が大きい) (条件がよい)

“所以 a”は、直接的な意味の関連がない前後の内容をただ繋いでいるだけである。“所以 b”は、前件で「建国後に大きな変化があった」ことを述べ、後件では「各方面で大きな変化があった」と、前件に補足説明を加えている。また、“所以 c”に続く後件では、“所以 b”の前件での主張が繰り返されているに等しい。一方、“所以 d”は、前文脈での説明を受けて、その結果として「条件が整備されている」ことを述べている。かくして、“所以”の連鎖の中で、因果関係が反映しているのは“所以 d”のみであるが、その他の“所以”は、前後を繋ぎながら、話の展開と終結への道筋をつけていると考えられる。

次は、前件と後件が逆説の関係にあるとも理解できる個所で“所以”が使われている

18) 可是现在治安呢,并不能够像达到理想的一个效果。这是每个人是可能都有的,是不是?如果孩子今天出去了,回来晚了,或者是夜班晚了,那总是提心吊胆 de。所以这个没办法,是不是,这是没办法。269 頁<でも現在、治安は、少しも理想的な効果をあげていないようです。

…たとえば子どもがきょう出かけて、帰りが遅くなる、或いは夜勤で遅くなる、そうするといつも心配でびくびくしています。で、しかたない、そうでしょう？どうしようもないんです。>

前件の「心配である」と後件の「しかたがない」と思うこととはむしろ逆説関係にあると理解できるが、順接の“所以”によって両者を結んでいる。次は対比的な事柄を“所以”が結ぶ例である。

18) 原来是没有上中学的,高中的,大学的没有。…(中略)……养家糊口。七八岁就得光着脚丫子穿着个裤衩儿就卖冰核儿。所以说这个现在就不然了。学龄前儿童都能上幼儿园, …178頁くもともと中学、高校、大学に進む者はいませんでした。…(中略)…働いて家計を助けたんです。7、8歳になると裸足で、女の子は短ズボンをはいて砕き氷を売ったんです。それで、今はそうではなくなりました。学齢前の子はみんな幼稚園に行けるし、…>

上の例では、過去と現在の子どもの状況を対比して述べているが、両者が“所以”で結ばれている。

このように、因果関係とは別の意味関係が、比較的明確に見られる場合でも、“所以”で結ぶことができる。<sup>3)</sup>

#### 4. 発話行為レベルでの因果関係

ここまでの例は、発話内容の内部で因果関係が見られるものであったが、一方で、話し手と聞き手による発話交換という行為自体の中での因果関係が示される場合がある。

##### 4. 1. 新話題の冒頭

“所以”は、前件の内容を前提にして後件の冒頭に置かれるのが、通常的位置であるが、これに反して話の冒頭に置かれる例が見られる。<sup>4)</sup>

19) 所以那个,对于这个物价这问题以前我也不管家,我从来也不管。家里都有母亲一个人管了,蛤。282頁<それでその、物価という問題については以前は私は家計の管理もしていませんでした、私はこれまで受けもって来ていません。家のことは全部母がひとりで切り回していますよ。>

上の引用部分は、家計・家事という新しい話題に入った冒頭の部分である。これはどう理解できるだろうか。与えられた話題を引き受けたという引継ぎの標識であろうか。

#### 4. 2. 発話行為動詞を導く

20) 这段工作呢?我觉得当时也挺有意思。所以您问有什么意思,那就是当时年纪很小,我对汽车这行儿呢,很喜爱。 4頁<この工程の仕事?当時とはとてもおもしろかった。それでどんなふうにおもしろかったかと言うと、そりゃ当時は若かったし、自動車の仕事っていうのに、惚れていたんです。>

20) では、発話行為動詞“問”が発話内容の中に表われ、「私が～と言った、それであなたは～とたずねるんですね。」という意味を構成している。ただし、録音された内容を聴くと、実際に聞き手が質問している様子はなく、ある種の定型表現に近い用法と考えられる。

19)、20)の例は、対話という相互作用の中での使用特徴が表われたものである。

### 5. まとめ

“所以”が談話（独話）の中で単用される場合、その用法上の特徴は以下のよう整理できる。

#### 1. “所以”の作用範囲の広さと重層的な因果関係

1) 前件と後件の距離：隣接するものから相当の隔たりまでが見られる。後者の場合に“所以”は話の本筋への回帰を導くはたらきをする。

2) 因果関係の階層性：一対一の関係から重層的な関係までが見られる。

#### 2. 派生的機能

明確な因果関係を導くほかに、以下のような機能が見られる。

1) 判断・主張・推論などその根拠を導く。前件が反復される定型がある。話題を収束させる前触れともなる。

2) 話の終結部に表われ、まとめの前触れとしてはたらく。事実・行為等を生起順に述べていく展開方式の中で多く使用。

3) 因果関係が見られず、発話を単に繋いでいくはたらき。連続使用が多い。話題を継続させ、その展開、終結へ向かう道筋をつけるはたらきとも理解できる。

上の派生的諸機能はいずれも、“所以”のもつ「帰結」の意味に着目したはたらきであり、かつ、話題の継続、終結に関わる点で談話的な機能であるといえる。前者については、“因为”と呼応して用いられる“所以”が、おおむね明確な「因果」の関係を導くはたらきをしている（拙稿1998）のに対して、単用される“所以”が「帰結」の意味を担う派生的機能をもつことは、その本義からして当然のこととも言えよう。後者の特徴を通しては、“所以”が談話の広がりの中で、その構成と展開に関わっている標識であることが見て取れる。

## 注

- 1) 語気助詞を伴ったり（たとえば“所以呢”）、発話動詞を続けたり（たとえば“所以说”）などの形式も分析の対象とする。以下、“所以”と称するときはこれらの諸形式も含めて指すことがある。
- 2) 拙稿（1998）の調査で、判断・評価・主張・説明などを表すときに、“所以・・因为・・所以…”の反復型がしばしば見られた現象と平行している。また、英語の場合も、類似した反復が結束性の連鎖を形成するという（Halliday&Hasan 1976, p. 256）
- 3) 邢1991では、同一内容が相反する意味の接続詞で結ばれ得る（たとえば、順接と逆接）ことから、話者の主観が接続の種類を選択すると指摘している。また、Halliday&Hasan 1976 (pp. 251-252)には、“and”が“yet”の意味で用いられる例示がある。
- 4) 発話の冒頭に置かれた“所以说”の例が、同じくインタビューに基づき編集した《北京人——一百个普通人的自述》（張辛欣・桑晔編、上海文芸出版社、1986年、p. 264）にも見られる。

## 参考文献

- 1) 陈建民 1984 《汉语口语》，北京出版社
- 2) Halliday, M.A.K.&Hasan, Ruqaiya 1976 *Cohesion in English*, Longman Group Ltd., chapter 5
- 3) 廖秋忠 1986 现代汉语篇章中的连接成分，《中国语文》第6期，pp. 413-427
- 4) —— 1988 篇章中的论证结构，《语言教学与研究》第1期，pp. 86-101
- 5) 罗日新 1995 关联词语纵横谈，《语言研究》第1期，pp. 28-32
- 6) 吕叔湘 1982 《中国语法要略》，商务印书馆，pp. 386-406
- 7) 大滝幸子1992 「中国語複句文の接続関係を決定づける諸要因—順接・逆接の分析を通して見いだせること—」、『文化言語学—その提言と建設』、三省堂、pp. 958-976

- 8) 谭达人 1990 含双联分句的复句,《中国语言》 第6期, pp.422-426
- 9) 邢福义 1991 汉语复句格式对复句语义关系的发制约《中国语言》 第1期, pp.1-9
- 10) 王维贤·张雪诚·芦曼云·程怀友 1994《现代汉语复句新解》,华东师范大学出版社, pp.122-143
- 11) 拙稿1998「中国語の因果表現—談話における選択要因について—」、『人文論集』49-1、pp.109-125